

【福岡女学院教会 主日家庭礼拝】

2024. 3. 31.  
復活節 第1主日  
イースター礼拝

黙 想 (黙 禱)

招 詞 眠りについている者、起きよ。死者の中から立ち上がれ。  
そうすれば、キリストはあなたを照らされる。  
(『讃美歌21』93-1-46)

讃美歌 325 (キリスト・イエスは)

主の祈り

讃 詠 28 (み栄えあれや)

聖 書 ヨハネによる福音書 20章 1節～10節  
(新約 209頁)

信仰告白 使 徒 信 条

メッセージ 「イエスの復活を信じた」 多田玲一牧師

祈 禱 ※それぞれ自由にお祈り下さい

讃美歌 79 (みまえにわれらつどい)

頌 栄 27 (父・子・聖霊の)

黙 想 (黙 禱)

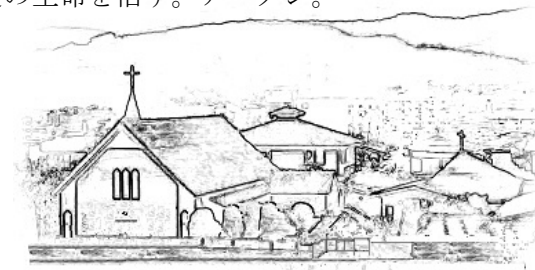
◎ 讃美歌は歌詞を読むだけでも結構です。

【主の祈り】 (『讃美歌21』93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあげさせたまえ。  
み国を来(きた)らせたまえ。  
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。  
我らの日用(にちよう)の糧(かて)を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、悪より救い出(いだ)したまえ。  
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。  
アーメン

【信仰告白 使徒信条】 (『讃美歌21』93-4-A)

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがへり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、  
かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。  
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、  
身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。



日本基督教団 福岡女学院教会

牧 師 多田玲一

協力牧師 青木麻里子、大島一利

〒811-1321 福岡市南区柳瀬1丁目41-32

TEL 092-591-5627 (Fax 兼)

教会ホームページ [http:// www.fukujoch.com/](http://www.fukujoch.com/)

(教会創立 1946年6月2日)



復活する

- 1 週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓に行った。そして、墓から石が取りのけてあるのを見た。
- 2 そこで、シモン・ペトロのところへ、また、イエスが愛しておられたもう一人の弟子のところへ走って行って彼らに告げた。「主が墓から取り去られました。どこに置かれているのか、わたしたちには分かりません。」
- 3 そこで、ペトロとそのもう一人の弟子は、外に出て墓へ行った。
- 4 二人は一緒に走ったが、もう一人の弟子の方が、ペトロより速く走って、先に墓に着いた。
- 5 身をかがめて中をのぞくと、亜麻布が置いてあった。しかし、彼は中には入らなかった。
- 6 続いて、シモン・ペトロも着いた。彼は墓に入り、亜麻布が置いてあるのを見た。
- 7 イエスの頭を包んでいた覆いは、亜麻布と同じ所には置いてなく、離れた所に丸めてあった。
- 8 それから、先に墓に着いたもう一人の弟子も入って来て、見て、信じた。
- 9 イエスは必ず死者の中から復活されることになっているという聖書の言葉を、二人はまだ理解していなかったのである。
- 10 それから、この弟子たちは家に帰って行った。

※聖書は本文は全て、日本聖書協会『聖書 新共同訳』